

年度	学年	教科	授業数／週
令和 8 年度	3	理科	4
教科書			
啓林館 未来へひろがるサイエンス 3			
補助教材			
正進社 理科の完全学習 3			

年間指導目標
問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、【規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準】を見いだして表現すること。 物質やエネルギー、生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

観点	評価材料	評価基準
知識 技能	・ 定期テスト ・ 小テスト ・ 実験操作 (準備、片付けを含む) ・ 実験レポート	知識に関して、各テストにおける観点別問題で評価する。技能に関して、各テストにおける観点別問題や、操作の意味を理解した上で実験を行っているか評価する。 知識・技能を点数化して合算し、満点の概ね8割以上をA評価、3割以下をC評価とする。
思考 判断 表現	・ 定期テスト ・ 小テスト ・ 実験レポート ・ ワークシート ・ 授業内考察	各テストにおける観点別問題で評価する。 また、実験を行う上で、目的に合った方法を考えて行い、考察で正しい考えを導くことができているかを評価する。思考・技能・表現を点数化し、満点の概ね8割以上をA評価、3割以下をC評価とする。
主体的に 学習に 取り組む 態度	・ 実験レポート ・ ワークシート ・ その他提出課題	レポートにおいて事前準備を行っているかや、ワークシートにおいて授業で学習の振り返りを記しているかで評価する。ワークの取り組み状況も評価する。それらを点数化し、満点の概ね8割以上をA評価、3割以下をC評価とする。

授業の評価について	
注意事項	何事においても好奇心をもって取り組むこと。ただし、実験や実習に関しては遊びではないことを十分に理解し、安全を考慮して進めること。また、準備、片付けを仲間と協力して丁寧に行い、周囲に危険がないようにすること。ケガ、器具の破損があった場合は速やかに報告すること。
アドバイス	生活の中で「なぜ？」と思われることを多く発見できるように意識するといい。授業の予習も大事だが、毎日の復習はその何倍も大事である。授業後には同じ内容の設問に取り組み、知識を定着させると良い。

年間指導計画			
学期	月	単元	テスト・評価
1 学 期	4	運動とエネルギー ↓	小テスト（知） 実験・レポート(知・思・主)
	5		小テスト（知） 実験・レポート(知・思・主)
	6	生命の連続性＋自然と人間 ↓	期末テスト(知・思・主) 小テスト（知）
	7		小テスト（知）
夏休み	8		
2 学 期	9		中間テスト(知・思・主) 小テスト（知）
	10	化学変化とイオン ↓	小テスト（知） 実験・レポート(知・思・主)
	11		期末テスト(知・思・主) 小テスト（知） 実験・レポート(知・思・主)
	12	宇宙を観る ↓	小テスト（知）
3 学 期	1		小テスト（知）
	2	入試対策 ↓	学年末テスト(知・思・主) 小テスト（知）
	3		小テスト（知） 調べ学習（知・思・主）

